

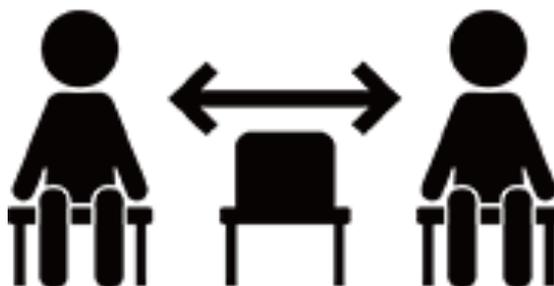
2021年フードバンクくるめ 定期総会のご案内

フードバンクくるめは設立から5年目を迎えます。昨年度の総取扱量は56.6トンにも達し、市内外の59団体へ食品支援を行ってきました。コロナ禍の最中ですが、今年も広い倉庫に分散して密を避けながら、昨年度の活動を総括し、新年度の活動を議論する定期総会を開催致します。

2021年4月29日(休) 午後2時から

会場：城島倉庫&事務所 (城島町城島689-2)

- ① 2020年度 事業報告書
- ② 2020年度 活動決算報告書
- ③ 2021年度 事業計画書 (案)
- ④ 2021年度 活動予算書 (案)
- ⑤ 役員 の提案
- ⑥ 支援団体等からの報告等



2021年度フードバンクくるめ役員 (案)

役職	氏名
代表	浦川 豊彦
副代表	清野克己
総務	江頭 ひとみ
会計	馬場 浴文
監査	堺 英二郎

2019年末突如出現した新型コロナウイルスのパンデミックに世界中が振り回されてきた1年となった。この間日本では3波のピークがあり、当初より大量検査に後ろ向きな日本政府は、クラスター対応と自粛要請頼みに、福岡県を含む人口密集自治体に緊急事態宣言を発した。全世界で大幅な生活制限が余儀なくされている。外出制限・営業自粛は広範な経済活動と人間関係や教育の低下を来たし、戦後最大級の不況が進行する中で、真っ先にパートや派遣などの非正規労働者や小規模で余裕のない自営業者たちは、収入の激減・解雇・倒産の嵐に晒されている。その結果、全国的に生活困窮世帯の急増をもたらした。フードバンクへの依頼と期待が今まで以上に増した1年間となった。幸い有望なワクチンが開発されてはきたが、集団免疫での収束が見込める全人口の7割を免疫するには数年を要するため、この先少なくとも数年間は引き続きウイルスの感染拡大の波に、市民生活と経済は一喜一憂することになる。

<4年めの到達点>

コロナ禍1年目の2020年度は、企業・団体58、個人25名から寄贈された食品の総量は56.6トン(前年度は24トン。内訳は玄米・精米4トン・野菜3.3トン・果物0.8トン・冷凍食品2.6トン・水&飲料9.4トン・災害食2トンなど)と2.4倍化した。中でも一昨年4月に発足した(一社)福岡県フードバンク協議会との2年目の連携は、種類の多様性(肉・魚類・乳製品も含む冷蔵・冷凍食品等)と量の多さ=約40トン(7割)に現れている。食品1kg当たりの我々のコストは約46円(うち久留米市負担分0円、平均的な食品価格は約500円)かかった。

食品支援先団体は、ホームページ・ロコミヤ紹介で増え続け、59団体(前年度は42団体。子ども食堂12・地域食堂6・校区福祉団体9・ひとり親団体2・無料塾1・児童・障がい者福祉施設13・社会福祉協議会7・路上生活者支援団体2・大学関連5など)になった。各々食品の引渡頻度が異なるものの、支援対象人数の総計では子ども約2,000名、大人約3,000名を遙かに超えている。地域別では、久留米市に43団体、周辺の小郡市・広川町・吉野ヶ里町・鳥栖市・佐賀市・唐津市・筑後市・柳川市・みやま市・大木町に広がりを見せている。

また、個別の生活困窮世帯への支援では、財政的・能力的に郵送や宅配など直接支援はできないものの、複数の団体を経由して行ってきた。第1は、地域の実状を把握している子ども食堂や校区民生委員・主任児童委員・ソーシャルワーカーなどを経由して、100世帯以上に間接的な支援を継続している。第2は、社会福祉協議会と生活自立支援センター窓口で、久留米市・筑後市・広川町・柳川市・みやま市・大木町・佐賀市で行ってきた。第3は、教会・お寺や路上生活者支援団体を通じてのルートである。第4は、母子家庭の団体1(100世帯)とグループ1(6世帯)である。加えて、個別困窮世帯への配送事業である佐賀県の『子ども宅食』にも食品提供している。

今年度支援先団体として特記すべきことは、従来想定すらしてこなかった生活困窮大学生に対する大学当局との協働での食品支援活動である。久留米大学へは合計12回・延べ2,683名、九州大谷短大へは2回・延べ約200名、久留米工業大学へは3回・延べ321名で、総合計は3,100名を超えている。その他、福岡の団体を通じて、福岡大学と福岡教育大学の学生支援に間接的に協力した。

みのう農民組合と協働して4年目の農業体験会を行った。コロナ禍でも密を避けて毎年11月恒例の柿収穫体験会は、本年度2回行われ、家族と小グループでの子ども34名、大人39名、合計74名の参加があり、合計200kgを超える富有柿の寄贈を受けた。

設備面では、この期間に大川産木製整理棚の追加分12本、設立当初からの台風対策懸念事項であった幅7mの電動シャッターから軽い引き戸への出入口改修工事、雨漏り修理、大型折畳み保冷箱8個、2台目の玄米保冷庫が新たに加わった。また、これも懸念材料である上下水道接続と水洗トイレの新設には100万円以上かかるため、2020年度の繰越金の大部分を積立金とした。

財政的には、10名以上の個人から特別定額給付金の全額／一部を寄付して下さり、合計18名からの個人寄付の総額が100万円を超えた。また、助成金も赤い羽根助成26万円(折畳み保冷箱8個および運営費に充当)、西日本シティ銀行から福岡県フードバンク協議会を通じての子どもの未来支援・物流助成60万円(10年間長期貸出し制度用の縦型冷凍庫10台約50万円)、ろうきんNPO助成40万円(出入口の改修費47万円)、福岡県のフードバンク活動助成26.8万円(玄米保冷庫全額)、久留米市社協5万円(運営費)の総額158万円にも達した。なお、2020年度は久留米市からの金銭的な助成を受けていない。また、正会員数64(目標80)・団体会員数9(同10)に増加した。

<見えてきた課題>

先進国に遅れること10年以上、国と自治体によるフードバンク活動支援が明記された食品ロス削減推進法が2019年5月成立・10月施行されたものの、今のところ何一つ具体的な施策は決まっていない。毎年我々の活動の財政的な足枷になっている固定資産市税=年間10.6万円も、事ある度に声を上げているが、免税される気配は今のところない。

生活困窮世帯への間接支援として、主任児童委員・民生委員・ソーシャルワーカー・子ども食堂による食品支援活動は、地域の実情に合った極めて有効な支援ルートであるが、ごく一部の校区に限られ全校区・全自治体レベルに普及していない。

これも懸念事項であったボランティアの確保であるが、火曜と木曜午後の定例活動に参加してくれる無償ボランティアは次第に増えてきた。しかし、有償化と他の平日にも対応できるスタッフ確保と不動産税が課せられる法人化は、財政上の課題である。

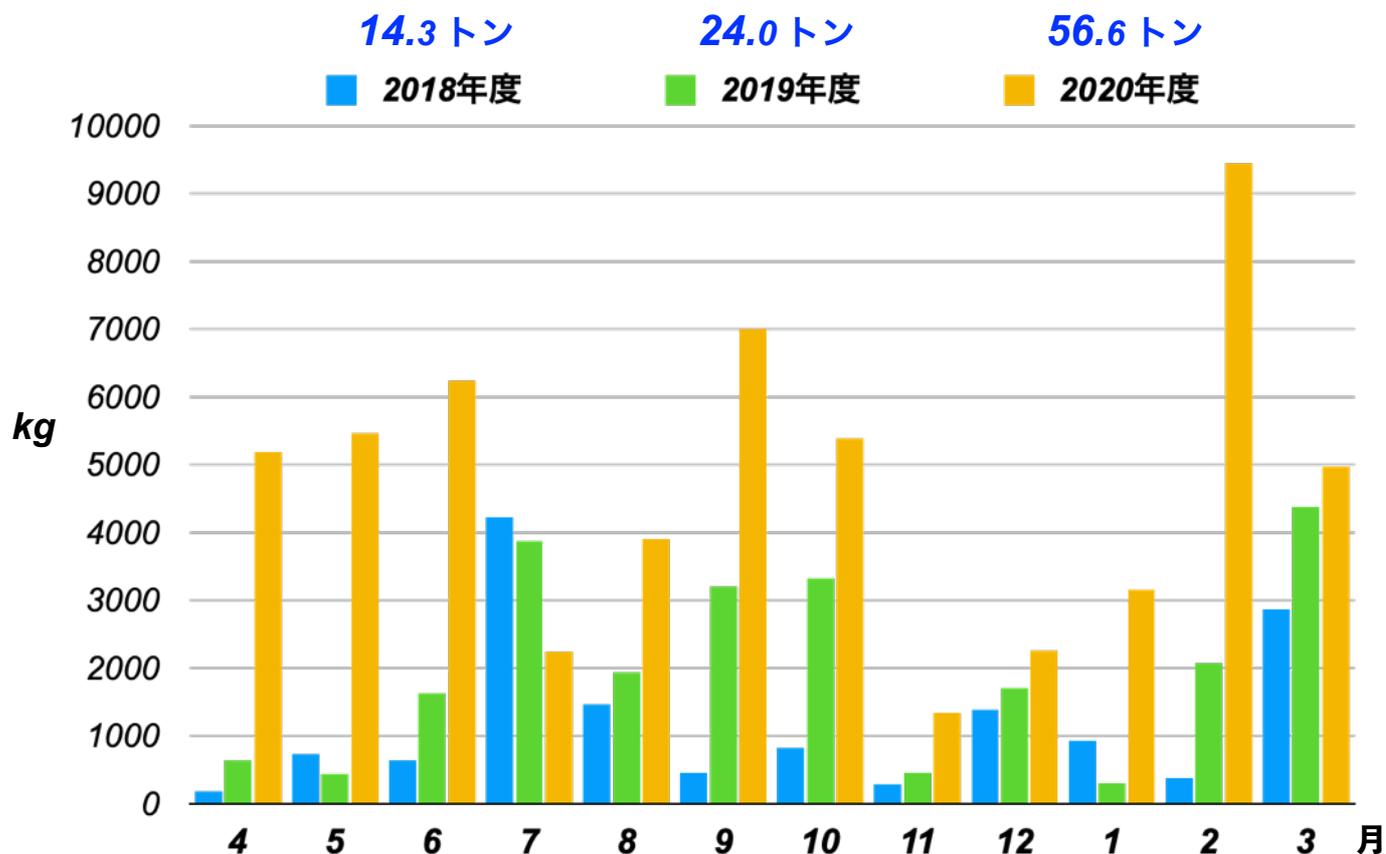
全国一斉休校と緊急事態宣言に伴う休校で、全国的に7～8割の子ども食堂の開催が中止される一方、フードバンクからの潤沢な食品提供を受けて、子ども食堂を継続開催、もしくは継続的に子ども弁当を提供したり、食品パントリーを行っている団体もある。

設備面では2018年と昨年も内水氾濫で倉庫が被災し、2社協の協力で迅速に復旧できた。食品・備品の嵩上げ対策が課題である。

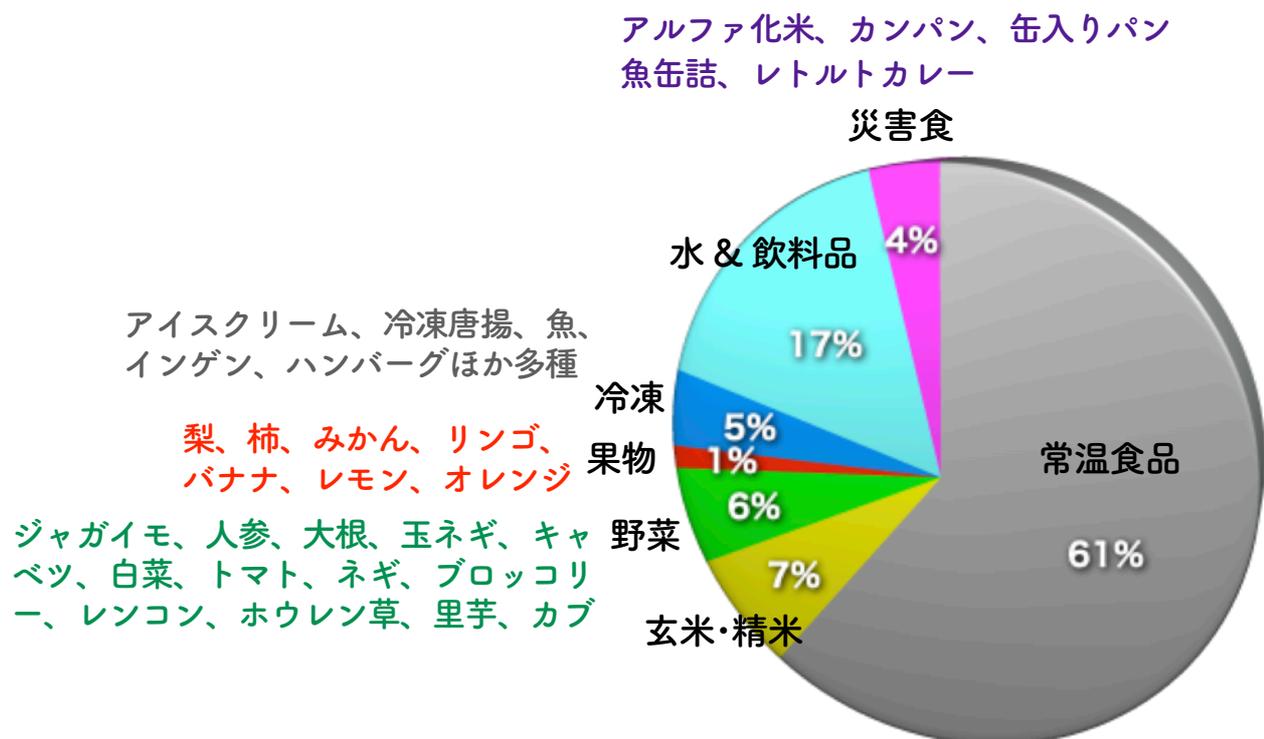
財政面では、2020年度のように今年度は多額の個人寄付は望めないが、各種の助成金を期待できる。

<資料>

2018～2020年度の月別 取扱量比較



2020年度の食品別 重量割合



2020年度 活動決算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

任意団体「フードバンクくるめ」

(単位：円)

科目	当初予算額A	決算額B	差額(B-A)	備考
I 経常収益				
1.受取会費				
正会員 (45口)	350,000	225,000	-125,000	5,000×45
賛助会員	20,000	0	-20,000	個人寄付に合算
賛助団体 (9口)	160,000	180,000	20,000	20,000×9口
2.受取寄付金				
受取寄付金 (個人分)	150,000	1,002,230	852,230	個人：18名
受取寄付金 (団体)	200,000	132,230	-67,770	団体：8、うち災害見舞金6万
3.受取助成金・補助金等				
受取民間助成金	50,000	1,310,000	1,260,000	社協5万、赤い羽根26万、協議会60万円、労金40万
受取公的助成金	250,000	268,000	18,000	福岡県環境部から玄米保冷庫全額補助
4.事業収益				
フードバンク事業収益	0	0	0	
5.その他収益				
受取利息	0	4	4	
雑収益	10,000	45,000	35,000	隣友の会倉庫賃借料
経常収益計	1,190,000	3,162,464	1,972,464	
前期繰越額		100,873		
収入の部合計		3,263,337		
II 経常費用				
1.事業費				
(1) 人件費				
給料手当	0	0	0	
諸謝金	10,000	0	-10,000	
人件費計	10,000	0	10,000	
(2) その他経費				
賃借料	0	0	0	
旅費交通費	5,000	1,520	-3,480	博多往復JR運賃
会議費	0	0	0	
車両費 (ガソリン・高速料・駐車料)	200,000	282,320	82,320	ガソリン代(13,291km)264,810、高速他17,510
諸謝金	0	0	0	
備品購入費	20,000	892,000	872,000	冷凍庫(10)36万、木製棚(12)26.4万、玄米保冷庫26.8万
委託料	10,000	0	-10,000	
その他経費計	235,000	1,175,840	940,840	
事業費計	245,000	1,175,840	930,840	
2.管理費				
(1) 人件費				
給料手当	0	0	0	
人件費計	0	0	0	
(2) その他経費				
印刷製本費	10,000	0	-10,000	
水光熱費	270,000	318,498	48,498	電気代317,199、灯油1,299
諸謝金	0	0	0	
地代家賃	0	0	0	ハンドリフト31,780、フードバック14,066
雑費・消耗品費	80,000	334,379	254,379	ランチプレート(340)11.9万、折畳保冷箱87,912、(上記)
通信運搬費 (電話ネット代、郵送・切手代)	90,000	134,682	44,682	電話74,273、ネット代57,999、郵送料2,410
営繕費	150,000	473,000	323,000	出入口改修工事代473,000
固定資産税 (市税)	106,076	106,076	0	内訳(土地68,701円、建物37,375円)
保険料 (ボランティア保険)	10,000	3,150	-6,850	2021年度9名@350円
保険料 (火災・災害保険)	60,000	62,800	2,800	全国での自然災害多発のため値上げ
諸会費	0	12,220	12,220	県FB協議会10,220、ボラ連2,000
図書・新聞費	0	8,400	8,400	農民新聞8,400
予備費	150,000	0	-150,000	
その他経費計	926,076	1,453,205	527,129	
管理費計	926,076	1,453,205	527,129	
経常費用計 (支出合計)	1,171,076	2,629,045	1,457,969	事業費計+管理費計
当期経常費増減額				
III 経常外収益				
1.固定資産売却却損	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
1.過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
経理区分振替額	0	0	0	
当期正味財産増減額	0	533,419	533,419	
前期繰越正味財産額		100,873		
次期繰越正味財産額		634,292		期末銀行残高634,295円

2021年度フードバンクくるめ事業計画書

2021.4.29

<概要>

発足5年・コロナ禍2年目の今年度は、急増する生活困窮世帯・子ども食堂・ひとり親世帯への手厚い支援のため、より多くの企業・団体からの食品寄贈を受け、支援先団体へ継続的に多種多品目の食品支援を行う。財政的には個人寄付は減るが、助成金の増加が期待できるため、有償ボランティア制度の導入と上下水道接続によるトイレと蛇口の新設を行う。法人設立時に不動産取得に免税・減税がない現段階での法人化は、今年度も先延ばしする。

<分野別事業計画>

カテゴリー	具体的活動等	必要な人数・資金等
会員・募金	正会員80名・団体会員12口の獲得をめざす。	個人・団体から募金35万円を集める
食品寄贈企業・団体・個人	フードバンク間連携強化、フードドライブ拡大、食品関連企業・団体への戸別訪問強化	通常の活動の範囲内
助成金・補助金	久留米市社会福祉協議会(市社協)助成金 福岡県フードバンク協議会(FFBK) 子ども育成支援金 久留米市絆づくり推進事業補助金	久留米市社協助成金5万円確定 FFBK経由で60万+100万=160万円確定 市の助成金の今年度申請 80万円予定
個別生活困窮世帯への間接支援	各自治体社協や生活自立支援センター窓口への食材やフードセット提供、子ども食堂運営者や校区の児童委員・民生委員などを通じてのピンポイント支援の拡大	箱詰め作業要員 数名
有償ボランティア制導入	無償ボランティアから有償制度に	60万円 (6人 x 1,000円 x 100日)
フードドライブ活動の普及支援	幟旗、リーフレット、折りたたみテーブル、椅子を貸出してフードドライブ活動を支援する。	機材等は購入済み
農業体験	コロナ禍でも、みのう農民組合との連携で柿収穫農業体験会を開催する。	当日支援スタッフの確保
情報発信と共有	ホームページの充実 メールリングリストと支援者間でのLINEの活用	福岡県フードバンク協議会が開発したフードバンク活動支援システムの本格的導入
縦型冷凍庫の長期貸し出し制度の拡大	子ども食堂、ひとり親団体・グループ、子ども支援団体への縦型冷凍庫の10年間貸し出し制度を拡大	冷凍庫1台約5万円
施設環境の改善	上下水道接続によるトイレと洗い場の新設	負担金(15万円) + トイレ新設(計約120万円)
ボランティアの確保と他団体との連携強化	ボランティアの参加を随時募る。ボラ連(久留米市ボランティア連絡協議会)を通じての連携強化	引き続き、浦川は久留米市ボランティア協議会理事を務める。
NPOもしくは一般社団法人化と免税	今年度も断念し、不動産取得(県)税免除の条例化への働きかけ、固定資産(市)税の減免への働きかけ	県FB協議会等を通じて県議会、事ある度に市議会への働きかけ
災害協定	大きな倉庫を活用し、久留米市と災害食・物品の備蓄とを含む包括的な災害協定を結ぶ。	2018年1月12日に災害協定締結の申出済み。
隣接フードバンクとの連携	フードバンクさがとフードバンク大牟田との食品融通・情報共有体制を維持・拡大する。	通常の活動の範囲内
福岡県内フードバンク間連携	2019年に発足した(一社)福岡県フードバンク協議会の構成メンバーとして県内の食品の融通・情報共有などの連携を強化推進する。	引き続き、浦川は理事を務める。
専用車両の入手	現在スタッフの車両をメインに、臨時で社協のトラックや江頭モータースさんのワゴンを借りて大量の食品を搬送している。	農水省のフードバンク支援事業の補助金に応募し、トヨタ・ハイエースバン商用車(約250万円)を申請する。

2021年度 活動予算書

2022年3月31日まで

任意団体「フードバンクくるめ」

(単位：円)

科目	当期分A	前期分B	増減 (A-B)	備考
I 経常収益				
1.受取会費				
正会員 (70口)	350,000	350,000	0	
賛助会員 (10口)	20,000	20,000	0	
賛助団体 (10団体)	160,000	160,000	0	
2.受取寄付金				
受取寄付金 (個人)	150,000	150,000	0	
受取寄付金 (団体)	200,000	200,000	0	
3.受取助成金・補助金等				
受取民間助成金	1,650,000	50,000	1,600,000	FFB協議会160万円、久留米市社協5万円確定
受取公的助成金	600,000	250,000	350,000	久留米市つながり届け 市民活動補助金申請予定
4.事業収益				
フードバンク事業収益	0	0	0	
5.その他収益				
受取利息	0	0	0	
雑収益	20,000	20,000	0	
経常収益計	3,150,000	1,200,000	1,950,000	
前期繰越額	634,292	100,873	533,419	
収入の部合計	3,784,292			
II 経常費用				
1.事業費				
(1) 人件費				
給料手当	600,000	0	600,000	6人 x 1,000円 x 100日
諸謝金	10,000	10,000	0	
人件費計	610,000	10,000	600,000	
(2) その他経費				
賃借料	0	0	0	
旅費交通費	3,000	5,000	-2,000	フードバンク関連会合出席
会議費	0	0	0	
車両費 (ガソリン・高速料)	350,000	200,000	150,000	1km20円
備品購入費	100,000	20,000	80,000	
委託料	10,000	10,000	0	
その他経費計	463,000	235,000	228,000	
事業費計	1,073,000	245,000	828,000	
2.管理費				
(1) 人件費				
給料手当	0	0	0	
人件費計	0	0	0	
(2) その他経費				
印刷製本費	12,000	10,000	2,000	最新版リーフレット2,000枚
水光熱費	380,000	300,000	80,000	電気料33万円、上下水道料5万円
諸謝金	12,000	0	12,000	
地代家賃	0	0	0	
雑費・消耗品費	80,000	80,000	0	
通信運搬費	100,000	90,000	10,000	電話代、ネット代、ドメイン料、郵送費
上下水道接続・トイレ新設	1,200,000	0	1,200,000	下水道負担金15万円、工事105万円
営繕費	150,000	150,000	0	
固定資産税	106,076	106,076	0	内訳(土地68,701円、建物37,375円)
保険料 (建物損害、ボランティア)	70,000	70,000	0	損害保険65,000円、ボランティア保険5,000
会議費	0	0	0	事業費の会議費に集約
予備費	150,000	150,000	0	
その他経費計	2,260,076	956,076	1,304,000	
管理費計	2,260,076	956,076	1,304,000	
経常費用計 (支出合計)	3,333,076	1,201,076	2,132,000	
当期経常費増減額				
III 経常外収益				
1.固定資産売却収益	0			
経常外収益計	0			
IV 経常外費用				
1.過年度損益修正損	0			
経常外費用計	0			
経理区分振替額	0			
当期正味財産増減額	0			
前期繰越正味財産額	634,292	100,873	533,419	
次期繰越正味財産額				